

大規模開発において、リソースの出し入れ渋滞やバッティングを防ぐためにはどうすればよいか。

ソフトウェア構成管理 設計塾

大規模開発、ウォーターフォール型開発で作業の俗人化によるヒューマンエラーがひとたび発生したら大問題になる。

プロジェクト全体の責任範囲の不明瞭やリリースの品質基準を開発にどう伝えて守らせるか。

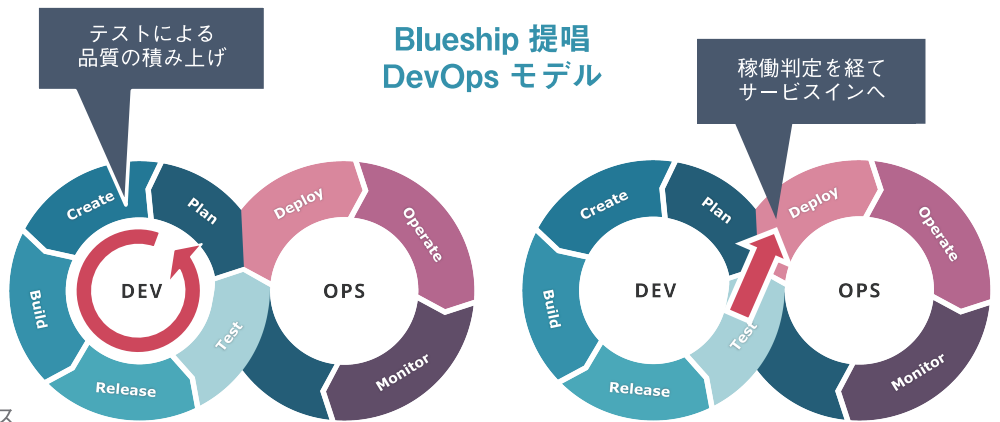
Blueship は 15 年以上構成管理を行っているプロ集団です

作業ごとにツール利用でうまく連携できず、人手を介して複雑になっている。

●プログラム

ソフトウェア構成管理の概要

1. ソフトウェア構成管理とは
2. ソフトウェア構成管理の重要性
3. Vモデル・ウォーターフォール開発・アジャイル開発
4. 日本の受託開発のジレンマ
5. ソフトウェア構成管理の概念の要素
6. 運営と導入
7. DevOps フレームに応じた ITIL プラクティス
8. 設計塾の背景にある主なフレームワーク



方針策定フェーズ

1. 構成管理業務の定義
2. 役割 / 業務の理解
3. 開発システムのリスク分析
4. 構成管理戦略の策定
5. 構成管理のリスク分析
6. クライアントレビュー



運営フェーズ

1. 構成管理プロセスの評価
2. 構成管理ツールの保存

構築 / テストフェーズ

1. 構築
2. 運用要件の確認
3. 運用リハーサル

計画フェーズ

1. 構成管理ツールの選定
2. リソースの選定
3. インフラストラクチャの決定
4. 構成管理の作業見積もり
5. 計画の策定
6. マネジメントの組織化
7. 全体計画との整合性確認
8. 構成管理方針との整合性確認

インフラフェーズ

1. インフラストラクチャの指定
2. インフラストラクチャの実現
3. インフラストラクチャの導入方法の指定
4. インフラストラクチャの導入
5. メンテナンス方法の検討
6. 保管方法の検討

仕様設計フェーズ

1. 資産の管理方法の策定
2. チェックリストの作成
3. テストベースの評価
4. 妥当性レビューレポートの作成



申し込み用の特設ページはコチラ

<https://www.blueship.co.jp/cp13>

検索



こちらにあるQRコードからでもアクセスが可能です。



開催場所

オンラインまたは
Blueship 本社オフィス